



2019年8月

群馬大学理工学部電子情報理工学科
小林研究室 4年
荻原 岳

TJCAS2019 参加報告書

概要

期間：2019年8月19日～2019年8月21日

場所：日光山輪王寺紫雲閣、日光東照宮客殿、日光温泉 日光千姫物語

目的：TJCAS2019の運営及び参加

感想

8月19日

初日は輪王寺紫雲閣にて一階では学生向け交流イベント案を提案しプレゼンする「WiCAS/YP Event」が、2階では折り紙を楽しむ「ORIGAMI Event」が開催された。「WiCAS/YP Event」で提案された中にははんだ付け競争や料理教室、スポーツ大会などがあり、異文化交流を目的とするイベントとして相応しいものが多かった（ナイトプールは予想外でした）。このイベントではまだ参加者は少なく、台湾人の人数も少ない印象であった。「ORIGAMI Event」を覗いた際は暑い中結構な人数の参加者がおり、日本文化に触れる機会を楽しんでいる様子だった。夜にホテル千姫物語で行われたウェルカムレセプションに行ったときには会場ホールが埋まるほど大人数がおり、参加者の多さに驚いた。これが初めての立食形式のパーティになった。日本の他大学の学生と話す機会があり、良い交流の機会となった。パーティの締めには「朋友」が歌われ、まるでイベントのフィナーレのようだった。

8月20日

2日目から本格的に学会スケジュールが始まった。開催場所は東照宮客殿。披露宴でも行われそうな立派な建物だった。学会開会式が行われ、Keynoteを二つ聞いたところで輪王寺にパネルの搬出に行く必要があったのですべてを聞くことはできなかった。昼食を挟んでパネル準備及びポスター発表の準備があり、画びょうの配布と発表者の準備補助を行った。セッション1の最中に奇妙な落とし物を見つけた。床に落ちている黒い物体が動いていたのだ。十分に血を吸ったのだらうまるまる太ったヒルだった。日光は自然の多い場所のため散策している最中に拾ってきたのか、はたまた勝手に侵入してきたのか…。迅速に会場から退場いただいたが、もし吸血された方が居られたのだとしたら体調を崩されていないことを祈るばかりである。セッション2で自分の発表があり、ポスターを見学しにきてくださ

った方にプレゼンを行った。来てくれた方の大抵が日本人であったため英語での説明の機会は少なかったが台湾からの学生に対して英語で説明を行った。2日目終了後には希望者を募って傘先生主催の学生交流会が執り行われた。お酒も入り気兼ねなく話せるようになるというろと興味深い話を聞くことができた。連絡先を聞き忘れていたことが最大の失敗であった。

8月21日

学会最終日は半日の予定でスケジュールされていた。すべてのセッションが終了次第、賞状を作成するという考えでいたがもっと余裕をもって印刷するべきだったと後に反省した。イベントではやるべきことをできるタイミングで終わらせておくべきだと学んだ。受賞者の中に自分も入ることができた。自分はまだまだ粗も多く未熟な発表内容であったと考えているが、投票してくれた方には大変感謝している。これからも研究に加え、言語学習により力を注いでいきたいと思う。研究ももちろん大切だが、それを伝えられなければ意味がないと実感したからだ。この日光で行われた学会は今までの大学生活では気づかなかったことを知り、あるいは忘れていたことを再認識することができた貴重な機会となった。



写真：大谷川にかかる神橋（世界遺産登録、国重要文化財）。橋下を流れる川は澄んでいて川底が見えるほど。